

授業科目	子ども家庭支援論				単位	2		
履 修	選択	関連資格	保育士		ナンバリング	CH21107J		
開講年次	2	開講時期	前期	該当DP	DP3-2 DP5-3			
担当教員	笠 修彰							
授業概要	核家族化、少子高齢化、共働きの増加など社会環境の変化により、近年の子育て家庭は様々な課題を抱えている。子どもの健やかな成長・発達を保障するために、また、親が持てる力を発揮し子育てに関われるようになるには、保育所や地域においてどのような支援が必要なのか、子育て家庭のニーズや社会的課題を踏まえて、家庭支援のあり方等について考察する。							
学生が達成すべき行動目標	1、子育て家庭に対する支援の意義・目的を理解することができる。 2、保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義と基本について理解することができる。 3、子育て家庭に対する支援体制について理解することができる。 4、子育て家庭にニーズに応じた多様な支援の展開と子ども家庭支援の現状、課題について理解することができる。							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	30	30	0	40	0	100	
知識・理解 (DP1-1)								
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)								
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)								
関心・意欲 (DP3-2)		20	20		30		70	
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)								
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)								
技能・表現 (DP5-3)		10	10		10		30	
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
子ども家庭支援の意義と役割を十分理解し、他者に対して正確に説明することができる。 保育の専門性を活かした子ども家庭支援について十分理解し、他者に対して正確に説明することができる。 子育て家庭に対する支援体制について十分理解し、他者に対して正確に説明することができる。 個別の家庭ニーズに応じた多様な支援展開と子ども家庭支援の現状や課題について十分理解し、他者に対して正確に説明することができる。				子ども家庭支援の意義と役割を理解し、説明することができる。 保育の専門性を活かした子ども家庭支援について理解し、説明することができる。 子育て家庭に対する支援体制について理解し、説明することができる。 個別の家庭ニーズに応じた多様な支援展開と子ども家庭支援の現状や課題について理解し、説明することができる。				
授業計画								

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ:オリエンテーション 保育士による子ども家庭支援の意義について学習する。また、授業概要や授業計画等について把握する。	講義	予習:シラバスを事前に通読する。	30
2	テーマ:子ども家庭支援の役割① 子ども家庭支援が求められる背景や保育所における子ども家庭支援の変遷について学習する。また、子ども家庭支援の基本理念やそれを方向づける概念について学習する。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
3	テーマ:子ども家庭支援の役割② 子ども家庭支援の対象や援助技術、保育士が担う支援の特質について学習する。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
4	テーマ:子どもや子育て家庭の育ちと社会の変容 子育て家庭を取り巻く環境とその変化について学習し、その影響によって生じる子育ての葛藤や課題等を考察する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
5	テーマ:保育士の基本姿勢と倫理① 保育所保育指針、幼稚園教育要領等に見る子ども家庭支援を学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
6	テーマ:子ども家庭支援の基本姿勢と倫理② 子ども家庭支援における保育士の姿勢と倫理について学習する。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
7	テーマ:保育相談支援 保育相談支援の構造や技術、またその実際について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
8	テーマ:特別な配慮を必要とする家庭への支援 特別な配慮を必要とする家庭への支援方法や支援体制等について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
9	テーマ:地域の子育て家庭への支援 保育所やその他児童福祉施設における地域の子育て家庭への支援等について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
10	テーマ:社会的養護を必要とする家庭への支援 乳児院、児童養護施設、母子生活支援施設等における支援について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
11	テーマ:子ども家庭支援に関わる法制度① 子ども家庭支援の政策的経過について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
12	子ども家庭支援に関わる法制度② 子どもの権利に関する条約、児童福祉法、子ども・子育て支援法等、子ども家庭支援に関わる法制度について学習する。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
13	テーマ:社会資源の活用と関係機関等との連携① 社会資源とは何か、社会資源における連携の留意点等について学習する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60

14	テーマ:社会資源の活用と関係機関等との連携② 子ども家庭支援に関わる機関や専門職等について学習し、連携のあり方について考察する。	講義	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。 予習:前回の学習内容を振り返り、授業に備える。	60
15	テーマ:まとめ 本科目における学習内容を振り返り、総括する。	講義 小テスト	復習:板書、配布資料を整理し、要点をまとめる。	30
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	子ども家庭支援に関連する問題や情報に広く関心を持ち、積極的に学び、取り組む姿勢が必要となります。			
テキスト	橋本真紀・鶴宏史編『よくわかる子ども家庭福祉論』ミネルヴァ書房 保育福祉小六法編纂委員会編「保育福祉小六法」(株)みらい			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『幼稚園教育要領 保育所保育指針 幼保連携型認定こども園教育・保育要領(原本)』チャイルド本社 その他参考図書については、授業のなかで紹介します。			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	授業に臨むにあたり、予習、復習を心がけましょう。また、日頃から新聞やニュースに親しむことを通して、保育を取り巻く現状に実践的関心を持ちましょう。			

達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<ul style="list-style-type: none">・小テストは穴埋め問題です。・レポート外提出物は授業で作成したノートです。・レポートは誤字・脱字がないか、文章の書式が正しいか、レポートとしての体裁が整っているか、参考資料・授業内容等を参照し考察を進めているか、自分なりの考察を筋道立てて展開しているかに注目して評価します。・小テストは採点をし、翌週解説します。
--------------------------------	---